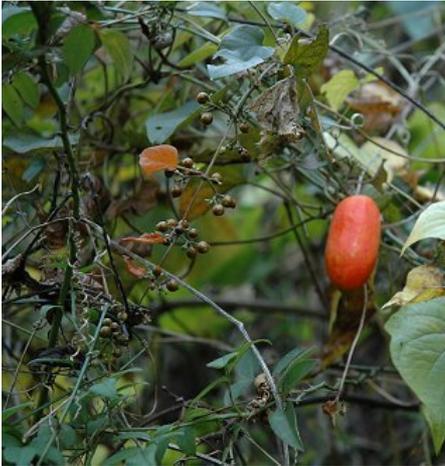


Chapter: 謎解き賢治植物[peco]

カラスウリ ウリ科



[click here for larger view.](#)

銀河鉄道の夜で「カラスウリ」として登場するカラスウリは、これに違いないのだが、なかに明かりを灯すとなると実際は無理がある。

しかし賢治はここで、カラスウリの色から連想してハロウインのようなことを考えたのかもしれないと想像する。そして、東北ということからも、キカラスウリではないと思う。

Chapter: 謎解き賢治植物[peco]

カムパネルラ キキョウ科



[click here for larger view.](#)

カムパネルラは、謎である。銀河鉄道の夜にでてくる主人公、カムパネルラ（Campanula）の名はキキョウ科の植物の学名になる。

Campanaというのは釣鐘という意味らしい。

このカンパネルラという名は謎だ。もちろん、この物語に出てくるカムパネルラの名前からくる暗示をリンドウやキキョウととらえたり、あるいはシャジンの仲間ととらえたりしても著者の本意ではないとは言えないが、わたしはあえて具体的に、この物語のはじめのところで、相当しそうな植物をあげれば、ホタルブクロではないかと思っている。

理由は「五、天気輪の柱」で「草の中には、びかびか青びかりを出す小さな虫もいて、ある葉は青くすかし出され・・・」という描写があるからだ。青びかりを出す小さな虫はホタルのことではないか？

ホタルブクロという名は、ホタルのでるころ咲くので、花に捕まえたホタルを入れて家に持ち帰るということがあってついた名前だ。

ふくろのなかが発光してさぞやきれいだったと思うが、残念ながらわたしはそれを見たことがない。

それでも、賢治はホタルブクロを偏愛していたのだと思っている。

そしてこのCampanula属の名前は、

[◀ Back](#)

[Entries](#)

[Contents](#)

[Next ▶▶](#)